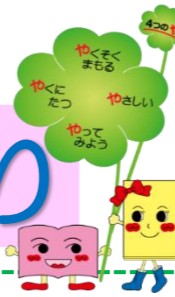


いえがあるっていいね
パトリア ハグティ/ブリッタ テットントラップ/木坂涼

洞窟の家で冬の間眠っていたクマの親子が目覚めました。外は明るくきれいな花が咲いています。子グマは外へ出ていきました。そして、リスや小鳥、ビーバー、魚たち…さまざまな生き物に出会い、だれにでも、どんなところにも家があることを知り、お母さんのいる家へと帰っていきます。「家」というテーマが、動物たちの愛らしい表情や、美しい風景の色彩で詩情豊かに描きあげられた絵本。さまざまに切り抜かれた穴あきのしかけが、ページをめくる楽しみと共に、こどもたちを安らぐ森の中へいざないます。

はまでら4つのや図書館

2021.10月の新着本より



トミカのひみつ 100
株式会社タカラトミー



50年前から続く、こどもたちに大人気のトミカ。その魅力を100のひみつで紹介。トミカの歴史、トミカができるまで、トミカのギミック、トミカの種類、トミカワールドの世界、トミカのイベント…など、様々な観点からトミカを徹底解剖！コラムでは、楽しく遊べるページもあります。親子で読んで、知ればもっとトミカが好きになる。情報満載、読み応えあり！な一冊です。

**おにぎりをつくる
みそしるをつくる**
高山なおみ/長野陽一

料理家・高山なおみからこどもたちへ贈る写真絵本。



おにぎり大好き！おいしいね！ごはんをぎゅぎゅっとにぎったら、生きる力がわいてくる！ごはんを炊いて、塩おにぎりがひとつできたよ。ひとりで留守番をしているこどもたちにも、忙しいお父さん、お母さんにも、おにぎりはいちばんの味方。

みそしるっておいしいね！心もからだもほっとする！こんぶを1こ、にぼしを5ひきで、かんたんおダシ。ちいちゃくひをつけ、くつくつく。あぶらあげ、すんとんとんとんとん。おとうふすくってとびこませ。おみそをとかしてできあがり！



うそ 谷川俊太郎/中山信一



「いっていることはうそでも うそをつくきもちほんとうなんだ」……この絵本は、詩人・谷川俊太郎さんが1988年に刊行した詩集『はだか』のなかの一篇「うそ」に、イラストレーター・中山信一さんが詩からイメージして絵を描き、構成した一冊。「うそはくるしい」はずなのに、平気でうそをつく人がいる。大きな声でうそをつき、しらを切り通す人もいる。うそをくり返したら、ほんとうになるのだろうか。ある男の子が犬と散歩しながら、うそについていろいろ思い、考える。嘘に誠実であるほど「ぼく」の言葉が心に深く響く。生きていけば、忘れられないうそが増えていく。うそと向き合うほど、悩み、苦しみ、救われる。うそに戸惑うこどもたちと、うそに慣れた大人たちへ……。心の奥深いところに届く、時おり読み返したくなる宝物のような一冊。

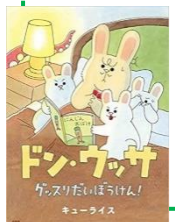
えをかくかく
エリック・カール/アーサー・ビナード

絵筆をもった男の子がかくのは…とっても青い馬。赤いワニ、黄色い牛など、現実とはちがった色あざやかな動物たちをかいていきます。「まちがった色なんてない。自由な色でかいていい」という作者カールの美術に対する思いがこめられたシンプルな絵本。作者が影響を受けた画家フランツ・マルクへのオマージュでもあります。エリック・カールがこどものころに出会ったすばらしい絵をみんなに手渡したくてつくった絵本。



ドン・ウッサ グッスリだいぼうけん！
キューライス

大きなカップでコーヒーを飲んだため、ベッドに入っても眠れないうさぎの親分ドン・ウッサ。子分たちも親分も、いろいろとやってみますが、その様子が健気で、でも愉快です。絶妙な仕上りのゆりかごベッドはユラユラしすぎて…！？星空の下や海のそばに場所を変えても何だかうまくいきません。アイデアはどんどんエスカレート。ついには大きなタコやピラミッドなども登場する展開に。親分想いの3羽の子分たちと共に目指せグッスリ！超個性派おやすみ絵本の登場です。



やさいむらの なかまたち
ひろかわ さえこ

ほっこりなごむキャラクターと意外な発見のあるまめ知識の両方が楽しめる、よくばりな一冊。食育の第一歩にもおすすめです。それぞれのルーツやでき方、栄養まで、充実のやさいまめ知識には、大人も目からうろこがおちるかも。



【秋】登場するやさいたち
・じゃがいもくん・ほうれんそうさん・さといもくん・せろりくん・さつまいもさん・とうがらしくん・しょうがさん・しいたけくん

【冬】登場するやさいたち
・にんじんさん・はくさいくん・かぶさん・ごぼうくん・ぶろっこりーさん・だいこんくん・ながねぎさん・れんこんくん



合唱 岬洋介の帰還 中山七里

中山作品の人気シリーズだが、なぜか次々と別シリーズの登場人物が出てくる。何が起こった!? 中山七里の集大成か…? と思ったら---デビュー10周年記念長編だ!

平成最悪の凶悪犯の取り調べ中、密室状態になった執務室で意識を失った天生検事が目を覚ますと、目の前に殺人犯の死体があった。絶体絶命のピンチにあの男が地球の裏側から駆けつける。旧友を救うために彼が連れてきたのは、まさかの悪徳弁護士！法廷での父子対決に、あの熱血刑事や法医学者までが証言台に立つ！

オールスター夢の競演にページをめくる手が加速し、ワクワクが止まらない！ずっと読み続けていたかった…。タイトル『合唱』に納得。

もしも徳川家康が総理大臣になったら
眞邊明人



2020年。新型コロナの初期対応を誤った日本の首相官邸でクラスターが発生。日本は混乱の極みに陥る。そこで政府は、かねてから画策していたAIで偉人を復活させて最強内閣をつくる計画を実行する。時代を超えたオールスターで結成された内閣は「コロナを収束させ、国民の信頼を取り戻す」ミッションに日本初のロックダウン、50万円給付金、リモート万博など次々と大胆な政策を実行していく。

当初「昔の人間に政治ができるのか」と半信半疑だった国民もえげつないほどの決断力と実行力に次第に歓喜していくが、その先には…。

果たして最強内閣は日本を救えるのか!? 家康と龍馬が日本の未来の為に下した判断とは!?

歴史、政治、ビジネス、ミステリー。あらゆるジャンルと時代を超えた前代未聞の教養エンターテインメント小説!

下町不思議町物語 香月日輪

優しさや温かさが溢れる
不思議が当たり前隣にある
そんな物語はいかがですか?

小学六年生の直之は、西の方から引越してきた転校生。病気のせいで体が小さくても、方言をからかわれても、母親がいなくて厳しいおばあちゃんに辛くあたられても、明るく挫けない。その元気の秘密は、路地の向こうにあった。大都会のすぐとなりにある昔ながらの不思議な下町で、師匠とその怪しい仲間が温かく迎えてくれるから…。

少年の成長を描いた、癒しと再生の物語。

対岸の家事 朱野帰子

家族のために「家事をすること」を仕事に選んだ専業主婦の詩穂。娘とたった二人だけの、途方もなく繰り返される毎日。幸せなはずなのに自分の選択が正しかったのか迷う彼女のまわりには、性別や立場が違っても、同じく現実に苦しむ人たちがいた。誰にも頼れず、いつしか限界を迎える彼らに、詩穂は優しく寄り添い自分にできることを考え始める。手を抜いたっていい。休んだっていい。でも、誰もが考えなければいけないもう一つの長時間労働。終わりのない「仕事」と戦う人々をめぐり優しさや元気にあふれた傑作長編!